

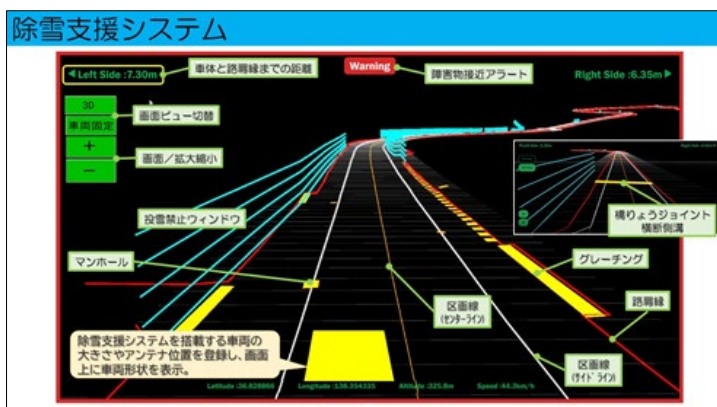
令和7年度東北地方整備局管内業務発表会で最優秀賞を受賞 「除雪支援システムについて」～除雪DXが拓く建設業の未来～

建設技術委振興課 ・ 盛岡広域振興局土木部 岩手土木センター

令和7年6月19日から20日にかけて国土交通省東北地方整備局主催で開催された「令和7年度東北地方整備局管内業務発表会」において、盛岡広域振興局土木部岩手土木センター菊地主査が発表した「除雪支援システムについて」が最優秀賞を受賞しました。

八幡平アスピーテラインの「雪の回廊」は、岩手を代表する春の絶景ですが、除雪作業にあたる地場の建設会社では作業員の高齢化や担い手不足、作業環境における安全確保等、深刻な課題に直面しています。

この課題に対し、高精度3次元地図と人工衛星による高精度位置情報を組み合わせることにより、雪の下の道路情報がタブレット上でリアルタイムに「見える」化を実現させ、安全・安心な作業環境、週休2日の実施など働き方改革、コスト縮減を達成しました。このことが高い評価を受け、最優秀賞を受賞したものです。



タブレットに表示される道路情報



発表する菊地主査



バックホウでの除雪状況

◇ 発表論文等はこちらからご覧ください。

（令和7年度東北地方整備局管内業務発表会のホームページ）

<https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00097/k00360/happyoukai/R7/index.html>

～ 岩手土木センターより ～

本システムを活用し「雪の回廊」を見事に造り上げた柏台地区ほか地域維持型共同体のみなさま、そして現場状況に応じたシステム開発を行い除雪DXの礎を築いたダイナミックマッププラットフォームAxyz株式会社様に深く感謝申し上げます。みなさまの卓越した技術と御尽力が、今回の受賞につながりました。

今後は県内全域への導入拡大を目指し、除雪DXを一層推進することで、建設業界の担い手確保や働き方改革に貢献してまいります。